

吐いたとき



飲みすぎて吐いたとき

“いつ乳”といって、生まれて3か月くらいまでは、口元から母乳やミルクがたれることがあります。吐いたあとも機嫌はいいです。

- ・元気にしていれば、問題ありません

咳こんで吐いたとき

肺炎や喘息発作などでせきこみが強いときや、鼻水がのどに流れこんだときに吐くことがあります。

- ・咳がやわらぐように、水分をこまめに与えましょう
- ・抱っこしたり、体を少し起こしたりして、寝かせましょう

頭の痛みや気分がわるくて吐いたとき

かぜで頭が痛くなったときや、車酔いなどで気分がわるくなったときに吐くことがあります

- ・横になって安静にさせましょう
- ・頭の痛みが強いときは、痛み止めの薬をつかきましょう

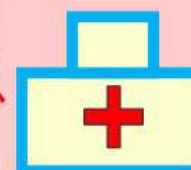


お腹の動きがわるくて吐いたとき

急性胃腸炎（嘔吐下痢症）でお腹の動きがわるいときにも吐いてしまいます

- ・水分補給のしかたや食事に気をつけましょう
- ・虫垂炎や腸重積、腸閉塞などでも吐きますが、これらの病気は緊急な処置が必要です

- + 元気がなく、ぐったりしているとき
- + 6時間以上続けて吐いているとき
- + 吐いたものが緑色のとき
- + お腹をひどく痛がるとき
- + 体中にじんましんが出て、機嫌がわるいとき
- + 血便が出たとき



こんなときは **すぐに受診を**



神戸百年記念病院 附属

すこやかクリニック

文献：医歯薬出版株式会社
「ママ&パパにつたえたい
子どもの病気ホームケアガイド」より